

# 中学校・社会科 公民的分野・「私たちが生きる現代社会と文化の特色」①

## 育成を目指す資質・能力

現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られること、現代社会における文化の意義や影響について理解する。位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、新聞記事等の資料をもとに、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現する。私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を身に付ける。

## ICT活用のポイント

子供一人一人が「現代日本の社会にはどのような特色が見られるだろうか。」という問題意識をもち、問題解決の見通しをもった後、必要な情報を収集したり、収集した情報を読み取ったり、読み取った情報を分類・整理して話し合ったりする際に1人1台のICT端末を活用することで、学習活動の幅を広げることができる。

## 事例の概要

単元を貫く問い「現代日本の社会と私たちにはどのような関わりがあるだろう」のもとで現代日本の特色を理解し、文化の継承と発展を目指す地域の実態を把握する。

### ○「考察し、構想する場面」において

単元を貫く問いについて考察し、構想する場面において、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察するとともに、社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する。その際、1人1台のICT端末を活用することで、新聞記事等の情報を探して、「新聞記事の概要」「考えたこと、疑問に思ったこと」「現代日本と新聞記事との関わり」「現代日本の社会への考え」といった観点から、現代日本の特色や課題を考察することができる。

### ○「考察したことや構想したことをまとめる場面」において

課題解決に向けて、考察したことや構想したことをまとめる場面において、学習課題を振り返って結論をまとめ、まとめた結論について他の生徒と意見交換を行い、学習課題についてまとめる。その際、1人1台のICT端末を活用することで、他の生徒との意見交換を充実させ、多くの生徒の考えに触れさせることで、現代日本の社会の課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察することができる。

課題把握

情報収集

考察・構想

課題解決

課題追究

# 中学校・社会科 公民的分野・「私たちが生きる現代社会と文化の特色」②

## 【考察し、構想する場面】

〇〇〇 2020/7/21 12:52  
**プラスチックごみ問題「使い捨て」見直そう＝論説委員・元村有希**  
 2020年7月16日、朝日新聞、朝刊  
[https://mainichi.jp/articles/20200721/q04d04070\\_0170000](https://mainichi.jp/articles/20200721/q04d04070_0170000)  
**★新聞記事の概要**  
 ・レジ袋の有料化が全国で始まったが、レジ袋が占めるプラスチックごみの割合は約2%  
 ・日本は1人当たりの使い捨てプラ消費が米国に次いで多い「使い捨て王国」である。  
 ・有料化をきっかけに、プラスチックに過度に依存する生活や使い捨て文化を見直した

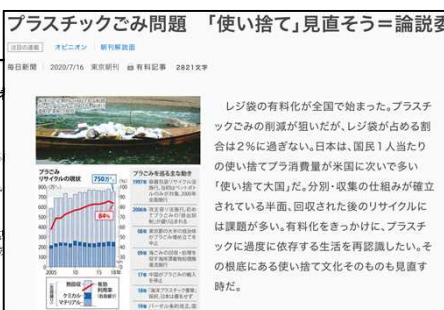
★発見したこと、考えたこと、疑問に思ったこと  
 レジ袋の有料化実施されたことに関して、コンビニなどの今までレジ袋を提供していた店舗がプラスチックごみ全体の2%であるという事実に驚いたが、削減しやすいつまみ部分でそう感じた。

★現代日本と新聞記事との関わり  
 この記事では、レジ袋の有料化を機に、ごみ削減の問題や、リサイクルの問題に言及し、ごみ持続可能な社会の問題に直結する。

★新聞記事を踏まえた持続可能な社会への考え  
 この新聞記事を踏まえて持続可能な社会の現状の分野や、循環型社会における、ごみの分別・収集の仕組みが確立している一方で、回収された後のプラスチックの問題にも目を向ける必要があると思った。



ある生徒は、ICT端末を活用して探した「プラスチックゴミ」の新聞記事をもとに、持続可能な社会のしくみに気づき、考察する。  
 (情報の収集／情報の読み取り)



ある生徒の探した新聞記事

## 【考察したことや構想したことをまとめる場面】

すべて折りたたむ

〇〇〇 2020/7/21 19:47  
 レジ袋がプラスチックごみの2%しか占めていないことに驚きを感じた。レジ袋の有料化により、少なくとも自分は物を大切にすることを高まったように感じる。プラスチックごみ問題は、解決するための対策をしてから大きな効果が出るまでに相当な時間がかかるだろう。しかし、対策を行わない限り、今の状況は何も変わらないため、対策は早めに行うべきである。国民ひとりひとりの意識改善が重要になると思った。

〇〇〇 2020/7/21 20:35  
 7月1日より全国でレジ袋の有料化が始まった。プラスチックごみは環境に様々な影響を与えるため、このように国全体で削減の方向に向かっていることは良いことだと感じた。しかしレジ袋はプラごみの約2%しか占めておらず、レジ袋だけでは、大きな変化にはならないように感じる。そこでレジ袋を通して、プラごみに関する意識変化が入れれば環境にとっても良い方向に行くのではないかと感じた。

〇〇〇 2020/7/21 23:37  
 レジ袋の有料化を機会にして、プラスチックごみ削減についてより考え、行動していかなければならないと感じた。また、日本のプラスチックごみの排出量がアメリカに次いで多いという点に驚き、焦りを感じた。ネットショッピングで送られてきた商品の梱包などには、過度なビニールなどが良く使われていることを思い出し、日本人として少し恥ずかしいと感じた。

〇〇〇 2020/7/21 23:47  
 レジ袋の有料化されたことで、2%のゴミの削減ができることは大きい変化だと思う。逆に私は身の回りに溢れているプラスチックごみの2%をレジ袋だけでしめていることに驚いた。またこれが人々の意識を変えることに大きな効果を持っていると思う。リサイクルやエコバッグの持参など自身見直すようになった。これからの社会を担う私たち子どもが特に意識を改善していくことでより良い持続可能な社会を目指していけるのではないだろうか。

〇〇〇 2020/7/21 23:57  
 レジ袋の占めるプラスチックごみの割合は2%と書いてあり、一見少ないように思われるが、レジ袋の有料化に伴い間違いなくこの割合が2%から減るのは大きいと考える。しかしやはり減らせても2%というの間違いのないので、他にもプラスチックごみを減らすように取り組むことは必要だし、そのために私生活を見直すのも大切だと思った。

〇〇〇 2020/7/22 0:00  
 プラスチックが環境に及ぼす悪影響は大きい。2パーセントにすぎなくとも大きな一歩となるのではないだろうか。レジ袋のほかにもプラスチックのペットボトルやストローなど、身近なものでプラスチックの使用を減らす必要がある。

ある生徒の持続可能な社会での「プラスチックゴミ」の課題に関する考えに対して、グループの生徒一人ひとりが、ICT端末を活用して、賛成・反対の意見や考えを入力する。(相互の意見交換)

問い：「現代日本の社会にはどのような特色が見られるだろうか。」

・学習支援ソフトのチャット機能やファイル共有機能を活用して、生徒一人一人の探した新聞記事や関連する資料・統計等を掲載して、気付いたことや考えたことを入力する。

### ICT活用のメリット

- インターネットで得た情報の整理・活用
- 複数の生徒の考えの即時の共有
- 端的に自分の考えをまとめる技能の習得

問い：「現代日本の社会の課題をどのように解決したらよieldろうか。」

・学習支援ソフトのチャット機能やファイル共有機能を活用して自分以外の生徒の探した新聞記事や関連する資料・統計等へのコメントに、賛成・反対等の意見や考えを入力する。

・学習支援ソフトのチャット機能やファイル共有機能を活用して自分の考えをまとめて、発信する。

### ICT活用のメリット

- 相互の意見交換の経過に基づく自分の考えの再構築
- 自分の学習過程と成長の可視化

【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト